

と

とうぜんいん 東漸院

柿木町にある寺院で、正式には「阿日山法袋寺東漸院」。真言宗豊山派。創立年代は不明だが、室町時代(1500年ごろ)に定範という僧によって開山されたと伝えられる市内最古の寺院。1591(天正19)年、徳川家康より朱印地三石を賜った。

元禄年間(1688~1704)及び寛政年間(1789~1801)に2度の火災に遭い、現在の本堂は1798(寛政10)年に再建されたものといわれるが、鐘楼、山門は火災を免れている。山門は1782(天明2)年の創建とされ、形式は一門一戸の四脚門で、1979(昭和54)年8月8日市の文化財に指定された。

山門をくぐった左手の薬師堂にある薬師如来像は高野山の木食僧・恵昌の作とされ、12年に1度、寅年の4月8日にのみ開帳される。次の開帳は2010(平成22)年4月8日。

〈昭和52年9月5日号・昭和55年11月5日号・昭和60年9月20日号・平成16年11月20日号〉
■柿木町 指定文化財



とうぶいせきせん 東武伊勢崎線

市中央部を南北に走る私鉄。東京・浅草から市内を経て群馬県伊勢崎市までを結ぶ東武鉄道の主要路線。1899(明治32)年8月27日、北千住から久喜間が開通。草加地域は草加駅だけだったが、1899(明治32)年12月に新田駅が開設。開通当時は

道路愛称路線図及び愛称



一日7往復で、客貨混合列車だった。所要時間は約1時間30分。北千住から草加まで三等で8銭、新田までは同じく10銭であった。東武鉄道は1910(明治43)年7月13日に伊勢崎、1929(昭和4)年10月1日には東武日光まで開通。

1924(大正13)年10月1日には浅草から西新井間が電化され、1925(大正14)年10月1日には越ヶ谷までが、1927(昭和2)年10月1日には全線が電化。1925(大正14)年10月に谷塚駅、1962(昭和37)年12月31日には松原団地駅が開業。これにより、かつての低湿な水田地帯が都市に変貌し、利用客は激増した。

1962(昭和37)年5月31日には営団地下鉄(現・東京メトロ)日比谷線との相互乗り入れが開始。北越谷から人形町間が一本の電車で結ばれた。1964(昭和39)年8月29日には中目黒まで延長され、電車本数も大

幅が増えた。1980(昭和55)年からは、県と市、東武鉄道が共同で市内の高架複々線化を進め、1988(昭和63)年8月に草加駅以南の高架複々線化、同年12月には草加駅以北の高架複々線化が完了し、1997(平成9)年3月に市内全てが高架複々線化された。

2003(平成15)年3月19日、東京メトロ半蔵門線、東急田園都市線と相互直通運転が開始され、都心への交通の利便性がさらに向上した。〈通史編下P172~・P410~・昭和37年6月20日号〉

■新田駅 草加駅 鉄道高架 馬車鉄道 松原団地駅 谷塚駅

とうふくし 東福寺

草加宿の祖・大川図書が創建したといわれている寺。正式には「松寿山不動院東福寺」という。1606(慶長11)年に大川図書が創建し、僧・

番号	愛称・古道名	区 間
1	中川通り	柿木町東部中川沿い
2	そうか公園通り	県道足立越谷線—川柳小—柿木清水場
3	青柳東通り	総合運動場—環境業務センター—越谷橋通り
4	越谷橋通り	弁天町派出所—越谷橋—八潮市場
5	松原文化通り	松原大橋—草加市文化会館—産業道路
6	稲荷中央通り	稲荷町地区画整理地内中央の南北道
7	緑蔭通り	手代橋—西代橋
8	山王通り	県道足立越谷線—山王橋—緑蔭川
9	記念体育館通り	県道足立越谷線—記念体育館
10	毛長橋通り	県道川口草加線—毛長橋
11	谷塚小学校通り	谷塚小—谷塚駅南
12	遊園(あすま)通り	あすま幼稚園—県道吉野安行東京線
13	氷川神社通り	川口市境—西町交差点—市役所北側交差点
14	保健所通り	旧県道さいたま草加線—越谷保健所草加分室東—氷川神社通り
15	男女士(おめど)橋通り	獨協大学グラウンド東側交差点—男女士橋—旧県道さいたま草加線
16	獨協大学通り	国道4号—獨協大学北側—松原団地駅西口
17	グラント通り	松原団地C—D地区
18	三町橋通り	松原団地A—B地区
19	寿橋通り	北谷町歩道橋—寿橋—川口市境
20	さざん花通り	栄中北側—新田小西側—金明通り
21	金明通り	国道4号—県道足立越谷線
22	川戸通り	国道4号—新田西公民館—県道越谷橋々谷線
23	メタセコイヤ通り	新栄町団地中央の南北の道
24	さくらんぼ通り	学園橋—川口市境
25	産業道路	越谷市境—八潮市場
26	稲荷新橋通り	新橋—いなり幼稚園南—稲荷神社北先
27	神明稲荷通り	県道足立越谷線—八条大橋—産業道路
28	あすま通り	県道足立越谷線—保健センター北—緑蔭通り
29	花東通り	花東交差点—興六橋—獨協大学通り
30	小山通り	県道さいたま草加線—県道草加原団地
31	谷古田道	国道4号—旧県道さいたま草加線
32	日光街道	県道足立越谷線—県道足立越谷線
33	葛西道	県道足立越谷線—あすま通り
34	花又道	県道足立越谷線—県道松戸草加線
35	下妻街道	中川通り—中川通り

賢宥が開山したといわれている。本堂は1824(文政7)年に再建、1899(明治32)年にわら葺から瓦葺になり、1993(平成5)年には大規模な改修が行われた。

また境内にある鐘楼は、1862(文久2)年造立の刻銘のある基壇の上に立つ。江戸末期の雛型を基本に設計され、絵縁は立川流を基本とする。境内の墓地には大川図書の墓があり、池の南側には、江戸中期の医



師で東都落語の中興の祖といわれる石井宗叔の碑がある。

山門が1977(昭和52)年8月8日に、鐘楼が1980(昭和55)年3月22日に、大永八年十三仏板碑及び本堂内外障彫刻欄間が1982(昭和57)年2月22日にそれぞれ市指定文化財に指定された。「草加八景」の1つでもある。〈昭和54年2月20日号・昭和55年11月5日号〉
■大川図書 指定文化財 草加八景

とうろあいしょう 道路愛称

市内の主要市道につけられている愛称。1988(昭和63)年に市制30周年記念事業の一環として公募し、命名された。市内約2800本の市道のうち主要25路線に付けられ、各通りには愛称柱が設置されている。1989(平成元)年に稲荷新橋通りなど5路線が追加命名され、2008(平成20)年現在、30路線ある。

なお、市内には古道として日光街

道や下妻街道など5路線がある。
 〈昭和63年10月5日号・平成元年9月20日号〉
■金明通り 産業道路 下妻街道

とうそじん 道祖神

古くからの道沿いにある石仏。道陸神ともいう。道の神、旅の神であり、また、災疫などを村に入れない境界神であるといわれる。市内では、新里町の谷塚西公民館近くの道に祀られている。この道はかつて、毛長川の舟着き場から旅人を導く道だったということから、石の正面に「道陸神」と刻まれている。人に見られずにはわらじを供えたと足腰がよくなるという。

■毛長川 新里町 谷塚西公民館



とくごといちく 特定5地区のまちづくり

今後、積極的に土地区画整理事業や市街地再開発事業のまちづくりを進めるべき5つの地区。新田駅東口地区、新田駅西口地区、柿木地区、谷塚駅西口地区、氷川町第2次地区を特定5地区と位置づけ、2002(平成14)年度から、市民との協働のもと将来のまちづくりの計画案策定に取り組んでいる。

■まちづくりアドバイザー

とくれいし 特例市

特例市とは、地方分権一括法の施行により、20万人以上の人口規模や行財政能力を有する自治体へ都道府県の事務権限移譲を推進するため、政令指定都市、中核市に次ぐ新たな都市制度として2000(平成12)年4月1日にスタートしたものの。特例市